

行事報告

しあわせの村宿泊体験合宿

兵庫頸髄損傷者連絡会 土田 浩敬

1、はじめに

みなさま、こんにちは。例年に比べて今年は早く梅雨明けになり、暑い日が続きますね。暑さで体調を崩されたりしていませんか。

さて、今回は6月17日、18日で開催した、しあわせの村宿泊体験合宿について報告させていただきます。

2、概要

日時：6月17日（土）16:30～6月18日（日）10:00まで。

場所：しあわせの村
〒651-1106
神戸市北区しあわせの村1番1号
TEL 078-743-8000

参加者：頸損10名 介助、ボランティア9名

目的：宿泊や外出経験の無い、もしくは少ない頸損者に対して、外泊に慣れた先輩頸損者からのサポートを受けて、宿泊することで自信を持ち、これからの社会参加のキッカケ作りとして行っている。

毎年恒例、兵庫頸損連のイベントとして定着してきた「しあわせの村宿泊体験合宿」ですが、毎年参加者を探し出すのに苦労しています。ただの頸損者ではなくて、宿泊や外出経験の少ない頸損者を探すことは、容易ではありません。

今回、大阪から2名参加されました。0くんとMさんですが、0くんについては以前、ピアサポートで枚方市にある星ヶ丘病院を訪れた時に知り合いました。Mさんについては、島本さんから大阪頸損連の鈴木さんを通じて、紹介してもらいました。

3、内容

今回は例年とは趣向を変えて、しあわせの村宿泊体験合宿を行いました。例年でしたら、夕方バーベキューを楽しんでから、夜の交流会といった

流れですが、今年は「頸損ピアサロン」というイベントを別に行ってから、夜に交流会という流れで計画しました。そして初参加者が0くんMさんに加えて、プラス4名。ボランティアも含めた合計は19名という面々でした。今までは、ただ交流会するだけで終わっていた交流会も見直して、先輩頸損者からの宿泊体験談や宿泊エピソード、そして初参加者が不安に思うことや、様々なエピソードを交流会の中で時間を作り、みんなで情報交換しました。



交流会の様子

私達も外出、外泊を初めて経験した時はどんなふう感じて思っていたのか、当時を思い出しながら話しました。

どのように伝わったのかは本人にしか分かりませんが、みんな同じように、初めてのころは不安に思い、心配していました。少しずつ外へ出る経験を重ねることで、自信に繋がり成長していくのだと。

宿泊に関しては、グループルームとツインルームを利用しました。グループルームの利点は初めて参加される人に対して、一緒の部屋に泊まることでサポートしやすく、不安を軽減することができます。そして少しグループルームの値段が安い。一つ欠点を上げるならば、泊まる人数に対して、少し部屋が小さいかなと思います。おかげで、ベ

ッドへ移乗する際に使うリフターが組み立てられません。ツインルームだと少し不安に思うかもしれませんが、その不安にも慣れて経験を重ねていくことも重要ではないかと感じます。

4、リフター

新たな試みで、今回は企業様から協力していただき、リフターを無償で提供してもらいました。車椅子からベッドに移乗する時に利用します。

以前までは、リフターを使わずに数人の介助者で抱えて移乗していました。この方法、手っ取り早いのですが、介助者の腰に大きく負荷がかかってしまうのです。昨今の介護現場では、腰痛になって介護から離れる人も沢山います。介助者が必要で、常日頃から介助者を探し求めている私達が、介護離れに繋がるような作業をさせていることは、矛盾の他なりません。

ですが、いざ利用しようとリフターを組み立てるのですが、組み立てに四苦八苦して、これじゃ余計に負担がかかると、介助者から苦言が。せっかく提供していただいたので、なんとか有効に使いたい。



リフターを使用する図 (I 藤さん)

リフターを使う大きな目的は、介助者の腰痛予防です。出来れば、リフター利用の講習会なんかを開いて、企業様と一緒に教えてもらいながら、この宿泊体験合宿の準備が出来れば、理想ではないかと思います。また企業様と意見交換する場を作って「持ちつ持たれつ」「お互いに利益のあるように」関係性を作り上げればと考えています。

5、まとめ

毎年開催している、しあわせの村宿泊体験合宿。少しずつ中身も変化しながら、今年も例年通り行うことが出来ました。

私が初めて参加したのは、2011年だったと思います。まだ実家暮らしで、これから自立生活を始めようと、準備をしていた頃でした。開催時期も今と違って、9月の半ば大蔵海岸で行われる、バーベキュー大会と併せて行われていました。あれから、内容や日にちが少しずつ変わっていきました。イベントを手伝ってくれる、学生ボランティアが参加しやすいように、期末テストと日にちが重ならない6月に変更。真夏とは違うので、頸損者も参加しやすいと考慮してあります。

去年までは、参加者の交流を深める目的でバーベキューを行っていました。今年からは、頸損ピアサロンという企画を別に行い、交流会の中身もプログラム化して、より外泊、外出について話し合えるように考えました。少しずつ中身を変えながら進化していく、しあわせの村宿泊体験合宿。



みんなおつかれさま!!

目的は1つ、外泊や外出経験の少ない、または無い頸損者に対して、私達経験者がサポートして、参加された頸損者に自信を持ってもらうこと。そして今後の生活に役立てていってもらえればと考えています。

また来年のしあわせの村宿泊体験合宿を、どのような内容で行うかは分かりませんが、宿泊体験合宿を頼ってもらえるように、ニーズに応えることができるイベントとして、進化を続けていく必要があると感じています。